

第3回検討委員会：平成26年3月13日

議題

1. 復旧方策（補修・補強及び更新等）について
2. 供用安全性の確保策について
3. その他

議事概要

1. 復旧方策（補修・補強及び更新等）について
 - ・ 損傷状況の調査検討で追加整理した事項について説明
 - ・ 橋脚の損傷を考慮した耐力及び橋脚・基礎の損傷状態の推定について説明
 - ・ 損傷した橋脚の補修・補強の方針及び具体補修・補強方法について説明
2. 供用安全性の確保策について
 - ・ 管理体制の強化概要について説明
3. その他
 - ・ 今後の委員会の調査検討とりまとめ等の対応について説明
4. 主な意見
 - ・ 不同沈下による残留応力が耐力に大きく影響するので、現状の残留応力が明確にわからない中で安全側を考慮した整理が必要。
 - ・ 復旧方策の前段で、調査検討結果での不明な点や再度大きな地震動が作用した場合の損傷状態の推定の際の仮定も考慮して、復旧方策の前提条件を整理すること。
 - ・ 神宮橋の限定的な供用において考慮する安全を確保するための方策（損傷補修・補強方策など）について整理すること。
 - ・ 不同沈下の発生は地震動とそれに起因する液状化が原因と考えられるため、今後も地震に伴う不同沈下による変状に対する監視方法として必要な事項を整理すること。
 - ・ 橋脚基部の巻立て部は構造体として機能しているので、炭素繊維巻立ての定着方法は巻立て躯体をはつらない方法を検討すること。